

次号予告と今後のご案内

2017年10月号 vol.3 no.3

Feature Topic

最期の最後のがん診療

がん診療の最期の一ヶ月。多くの臨床家が体験してきた最期の最後のこのときに、患者と家族、そして医療者にはなにが起きていて、なにをしているのか？ 近年蓄積されつつある死亡と看取りのエビデンスを軸に、その実際を考えます。

View-point がん診療

「胃がん」 企画：馬場英司（九州大学病院 腫瘍内科）

罹患率、死亡率ともに低下しつつあると言われる胃がん。しかし、未だ13万人を超える患者が存在します。治療法の進化によって薬物療法の導入も進み、長期予後が認められるようになってきた本領域。近く、免疫療法もその視野に入ってきたとされています。胃がんの最新と現状についてエキスパートが解説します。

2018年2月号 vol.4 no.1

Feature Topic+

目で見えるがん治療の皮膚障害

「決定版! 皮疹の重症度別アトラス」

企画：宇原 久（札幌医科大学附属病院 皮膚科）

分子標的薬の登場以降、頻繁に遭遇するようになった副作用としての皮膚障害。しかし、臨床での実際の所見は皮膚科専門医でなければその鑑別と判断に苦慮することもしばしば……。そこで、本誌では、CTCAE Gradeにも言及しつつ、読んで使える、見て使える皮膚科専門医監修による「皮疹の重症度別アトラス」をまとめます。

カンファレンス取材のお願い

あなたの施設のカンファレンスを『Cancer Board Square』に掲載しませんか？
本誌では、がんに関わるカンファレンスの取材先を募集しております。

- ・ Cancer Board
- ・ 診療科横断型のグランドカンファレンス
- ・ Death Conference
- ・ CPC
- ・ ナースによる振り返りカンファレンス
- ・ 若手の症例検討会

など、公開可能な活発なディスカッションの場がございましたら、編集室までぜひご連絡ください。

03-3817-5714（編集室直通）
cbs@igaku-shoin.co.jp

*これら特集テーマについては変更の可能性がありますことをご了承ください。